

記者発表（資料配布）				
月／日 (曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤル)	発表者名 (担当名)	その他 配布先
7 / 5 (水) 10:00	県立考古博物館 企画広報課	(079)437-5589	事業部長 平田 博幸 (学芸課長 藤田 淳)	但馬県民局

**平成 29 年度ふるさと発掘展
「ASAGO の「カントリーロード」～ひとの道・モノの道～」の開催について**

県立考古博物館は、県内の博物館や資料館と連携して、総合的な埋蔵文化財活用事業として「ふるさと発掘展」を開催しています。

今年度、「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」が日本遺産に認定されたことを記念して、朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」と共催で展覧会を開催します。

「道」を朝来市を紐解くキーワードに、人々が時代ともに選び・守り伝えてきた朝来の歴史と文化を紹介します。

会 期：平成 29 年 7 月 8 日（土）～10 月 9 日（月祝）

会 場：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」特別展示室
(朝来市山東町大月 91-2)

オープニングセレモニー

日 時：平成 29 年 7 月 8 日（土）午前 10 時～

場 所：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」
(朝来市山東町大月 91-2)

平成 29 年度ふるさと発掘展

「ASAGO の「カントリーロード」～ひとの道・モノの道～」

この春、「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」が日本遺産に認定されました。本展では、朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」を会場に、朝来市の歴史を紐解くキーワード「道」に焦点をあてます。

会 期 平成 29 年 7 月 8 日（土）～平成 29 年 10 月 9 日（月祝）
会 場 朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」（朝来市山東町大月 91-2）
主 催 兵庫県立考古博物館、朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」
後 援 兵庫県 兵庫県教育委員会

《概要》

「道」は、朝来市の歴史を紐解くキーワード。古代には【都と地方を結ぶ国道と支線】、中世には【生野銀山と天下掌握への道】、近代には【官営鉱山・生野を起点とする日本初の高規格産業用道路】を人とモノが駆け、国の発展に影響を与えました。また、近世には流人とその家族が選んだ道が、時を超える遠距離地域間の交流を生み出しました。本展では、朝来の人が時代とともに選び・守り伝えてきた「道」を紹介します。

◆シリーズ講座

会場：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」体験学習室
時間：いずれも 13:30～15:00 定員：50 名 参加無料（事前申込み不要）
7 月 23 日（日）講師：市 大樹（大阪大学文学部 准教授）
7 月 30 日（日）講師：竹内 亮（花園大学文学部 専任講師）
8 月 20 日（日）講師：松見裕二（壱岐市立一支国博物館 学芸員）
8 月 27 日（日）講師：柏原正民（兵庫県教育委員会事務局文化財課 主幹）

◆体験学習「弥兵衛も眺めた!?壱岐の鬼尻に色を塗ろう！」

会場：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」体験学習室
日時：8 月 19 日（土）【午前】9 時～11 時【午後】1 時～3 時
定員：午前・午後 各先着 10 名（事前申込み不要） 参加費：500 円

◆見学会「銀の馬車道を巡ってみよう！」

内容：朝来市に残る鉱石の道関連遺産および神河町の「馬車道」を見学します。
日時：8 月 6 日（日）午前 9 時～午後 5 時
集合・解散場所：朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」
定員：20 名（要事前予約） 参加費：1000 円

※詳細はチラシをごらんください。

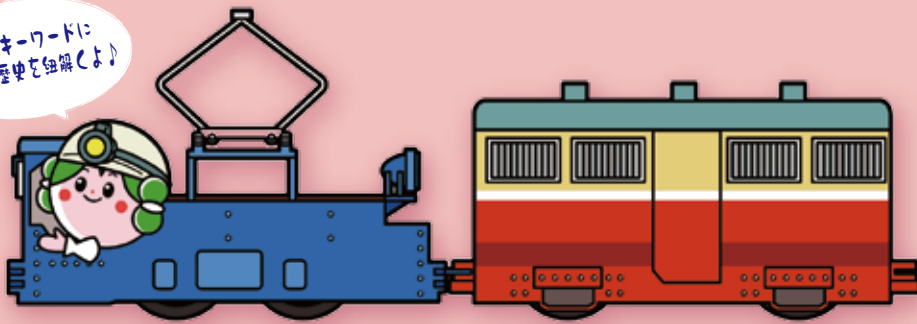
問い合わせ

兵庫県立考古博物館 学芸課 担当：松井 良祐（まつい りょうすけ）

TEL 079-437-5562（学芸課直通）



「道」をキーワードに
朝来の歴史を紐繰りよ!



鉱石と人を運ぶもの (明神電車)



歴史のKOMICHI (竹田・寺町通)



ENISHIの道を往く者
(心諒尼肖像 水月院所蔵)



IKUNO 郷土愛の結晶 (旧吉川邸)



RAIL ROAD (山陰本線和田山駅機関庫)
(撮影:佐藤真悟氏)

平成29年度 兵庫県立考古博物館 ふるさと発掘展×朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」特別展
日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」認定記念

A・S・A・G・Oの カントリィーロード

~ひとの道・モノの道~

2017.07.08(Sat.)-10.09(Mon.)



大坂へとつづく、銀の道
(『但州生野銀山絵巻』生野書院所蔵)



MONONOBUたちの拠点
(雲海に浮かぶ「竹田城跡」撮影:吉田利栄氏)



KODAIの国道跡 (古代官道「但馬道」)
兵庫県立考古博物館所蔵写真



ASAGO 鉱石の道の一大拠点 (種子畑選鉱場跡)

朝来市埋蔵文化財センター 古代あさご館

〒669-5153 兵庫県朝来市山東町大月 91番地 2
TEL:079-670-7330 FAX:079-670-7333
ホームページ: <http://www.city.asago.hyogo.jp/>

- 開館時間: 9時~17時 (入館は16時30分まで)
- 休館日: 月曜日 (祝休日にあたる場合は翌平日)
- 特別展観覧料: 100円 (小中学生以下・65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方は無料、障がい者および小中学生の引率者は免除団体割引あり(20名以上1割引))

- 主催: 兵庫県立考古博物館・朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」
- 後援: 兵庫県・兵庫県教育委員会

★お問い合わせは、展示会場の古代あさご館まで。





平成29年度 兵庫県立考古博物館 ふるさと発掘展×朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」特別展
 — 日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」認定記念 —

A・S・A・G・Oの **カントリーロード**

～ひとの道・モノの道～

2017.07.08(Sat.)-10.09(Mon.)



「道」は朝来市の歴史を紐解くキーワード。古代には【都と地方を結ぶ国道と支線】、中世には【生野銀山と天下掌握への道】近代には【官営鉱山・生野を起点とする日本初の高規格産業用道路】を人とモノが駆け、国の発展に影響を与えました。また、近世には流人とその家族が選んだ道が時を超え、遠距離地域間の交流を生み出しました。本展では、朝来の人が時代とともに選び・守り伝えてきた「道」を紹介します。

体験してみよう

予約不要 午前・午後 各先着 10名

弥兵衛も眺めた!? 壱岐の鬼凧に色を塗ろう!

と き：8月19日(土)

午前 9時～11時

午後 1時～3時

ところ：「古代あさご館」体験学習室

参加費：500円(材料・写真用紙代)

講師：稲津賢和氏
(朝来市文化財保護審議委員)

内容：本展の主演の一人・小山弥兵衛が暮らした壱岐の伝統的な玩具・魔除けである鬼凧。自分で彩色した鬼凧で自宅を守りましょう!



要予約・定員 20名

マイクロバスで銀の馬車道を巡ってみよう!

と き：平成29年8月6日(日)

午前9時(集合・出発)～午後5時(解散)

集合場所：「古代あさご館」エントランス

参加費：1,000円(昼食代)

持 物：汚れてもよい服装でお越しください

行 先：神子畑・羽淵鉄橋、神河町内に残る馬車道、
生野町口銀谷地区ほか

申込み：「古代あさご館」へ
電話・FAX または、窓口にて事前申し込み下さい



平成29年度 生野書院企画展

お雇い外国人ー日本の近代化を支えた人たちー

会 期：平成29年7月1日(土)～9月3日(日)

時 間：午前9時30分～午後4時30分

休館日：月曜日(7月17日は開館・翌日18日は休館)

問合せ：〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷 356-1

TEL:079-679-4336

朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」 壱岐市立 一支国博物館 あんでなミュージアムショップ

朝来市の友好都市・長崎県壱岐市って、どんなところ?
その歴史文化を紹介するために、古代あさご館に壱岐市立
一支国博物館のミュージアムショップがやってきます!
お気に入りのグッズを見つけて下さいね♪

シリーズ講座のご案内

いずれの講座も、定員 50名、開催場所は古代あさご館「体験学習室」です。

① 7月23日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】市 大樹 氏(大阪大学)

「日本古代の都鄙間交通と但馬国」

但馬の古代官道や官衙遺跡などを題材にした、
古代の地方政治・交通史の総論です。

② 7月30日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】竹内 亮 氏(花園大学)

「地方文化拠点としての古代駅家」

古代のSA(駅家跡)・朝来市山東町の柴遺跡文字資料などから、
地方社会における文字文化発信拠点としての駅家の姿に迫ります。

③ 8月20日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】松見裕二 氏(壱岐市立一支国博物館)

「朝来から壱岐へ

～流人・小山弥兵衛がきたふたつの故郷～」

小山弥兵衛と孫娘・全鏡が結んだ縁の道。その起着点である朝来と
壱岐島の歴史文化を比較しながら紹介します。

④ 8月27日(日) 午後1時30分～3時

【講師と演題】柏原正民 氏(兵庫県教育委員会)

「馬車の道・鉄の道～2つの道が運んだもの～」

日本の近代化・経済成長を支えた2種の鉱山と道。
その沿線で育まれてきた歴史文化を紹介します。

◆朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」へのアクセス

